

## 令和 2 年度銚子山古墳工事設計に対する検討項目

予定工種 撤去工、墳丘復元盛土工（墳丘裾復元、トレンチ埋め戻し）、遺構表示工（周溝、周溝外）、園路工（階段設置）

## ① 撤去工（樹木伐採）

- ・市街地から見える部分（古墳中軸より海側）を約 60 本伐採  
※伐採方針 - 細い木、形の悪い木を伐採する。
- ・山側については高枝切り程度にとどめる。

## ② 階段設置工

- ・くびれ部付近（H29-4 トレンチ設定場所）に設置。木調、手すり付き。排水は植生シート or 半裁管

## A 案 擬木による丸太階段

既設階段と統一感が出る。他の案に比べ支柱の掘り込み（打ち込み）が深い。

## B 案 木製階段（手すり付）

手すりの土台を横木と一体化できる。砕石を敷くため工事費が高い

## C 案 角型階段（手すり付）

B 案に比べ掘り込みが浅い。部材の腐食が心配。

## ③ 墳丘復元盛土工

- ・墳丘の 1 段目テラスの盛土高さラインの処理（側面観）

A-1 案 墳丘勾配を 1:2 で一定に保つ（くびれ部から前方部端まで一定に高くする）

B-1 案 No5 までを一定の高さにし、そこから先を高くする

A-2 案 A-1 案に比べ、40 cm 高さを低くする。

B-2 案 B-1 案に比べ、40 cm 高さを低くする。

C 案 No2~No8 までの墳丘裾の高さを 22.0m（A 案に比べ 90 cm 低くする）

## ④ 遺構表示工

- ・周溝表示整備について、既施工部において、雨水の表面排水により水みちが発生しているところがあるため、表面傾斜を抑えたい。

A 案 周溝外の緑化部分に 30 cm 程度の土による高まりを設置し、砂を止める。

B 案 周溝外の高まりを約 1.5m とし、周溝の勾配を 2% 程度に抑える。

## ⑤ その他

- ・葺石復元部分の位置。くびれ部階段の左側か右側か